

高齢者施設向け 感染症対策三二講座

～ 第3回 ～

R3.3.16(火)

大分県東部保健所

施設利用者が陽性となった場合の流れ

外来医療機関・施設

①抗原検査



③医療機関（施設）から
保健所へ連絡

⑥PCR検査
結果連絡

⑤PCR検査の
ための検体回収

⑦〈PCR陽性〉
入院調整

②陽性



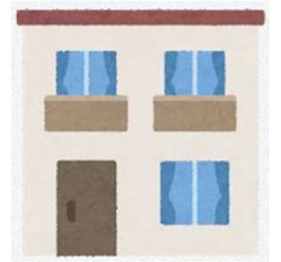
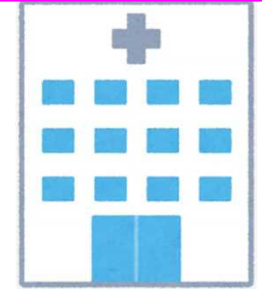
パターン②
★聞き取り調査★
⑧入院
訪問の可能性あり

パターン①（抗原検査実施時）
★聞き取り調査★

外来患者：PCR検査の結果判明まで自施設で待機

④PCR検査の
ための検体採取

入院医療機関



(施設)

陽性となった場合の聞き取り調査内容①

<本人について>

- ・ 氏名、性別、生年月日（年齢）住所
- ・ 本人の職業
- ・ 本人の行動歴（症状出現の14日前～現在）
- ・ 施設での過ごし方
- ・ 症状の経過及び検査結果（※実施した場合のみ）
- ・ 基礎疾患
- ・ ADL（排泄、食事、行動面）
- ・ 予防接種歴



- ・ 窓口を明確にしておく
- ・ 利用者の健康観察記録、行動記録が必要

東部保健所（別府・杵築・日出）：0977-67-2511(代)
国東保健部（国東・姫島）：0978-72-1127

利用者が陽性となった場合の聞き取り調査内容②

<施設について>

- ・ 本人と関わりのある利用者のリストアップ
- ・ 本人に接した職員の洗い出し（いつ、どの職員が、どのようなケア実施したか）
- ・ 職員の場面毎のPPE着用状況（マスク、手袋、フェイスシールド、ガウン）
- ・ 他利用者、職員に体調不良の者がいないか（過去14日間の振り返りを含む）
- ・ 施設の間取りはどうか（施設の看取り図のコピー等）
- ・ トイレや手すり等の環境消毒の状況（頻度、消毒液の種類、実施者）
- ・ 汚物交換時の処理やPPEの着用状況（手指消毒の頻度、手指消毒の場面） 等

※PPE＝個人防護具

- ・ 食事の座席など固定化が必要！
- ・ ケアの記録が必要！
- ・ 健康観察記録が必要！（利用者、職員共に）
- ・ 利用者も可能な限りマスク着用をお願いする！
- ・ PPEの備蓄が必要！
- ・ 施設の図面の準備を！

職員が陽性となった場合の聞き取り調査内容③

- ・ 更衣時（マスク未着用状態）に会話した者の有無
- ・ 昼食を一緒に食べた職員の有無と距離、換気の状態、机の消毒状況、パネル等の設置の有無
- ・ 休憩時、お菓子を共有していないか
- ・ 仮眠室の使用法（ベッドやシーツの取り替えについて）
- ・ 勤務時、場面毎の手指消毒の状況
- ・ 喫煙の有の場合、どこで、どのように喫煙するか 等



- ・ 昼食は時間をずらすか、1人一部屋ずつで食事をする
- ・ お菓子の共有はしない
- ・ マスクを外す時間を無くす、不織布のマスクを着用する
- ・ 仮眠室は清潔を保ち、シーツなどは個人毎交換か、アルコール等で拭上げ

作成を依頼する接触者リスト

接触者リスト（利用者/職員）

新型コロナウイルス感染症患者の接触者リスト

(添付3-2)

患者ID

患者氏名:

調査者氏名:

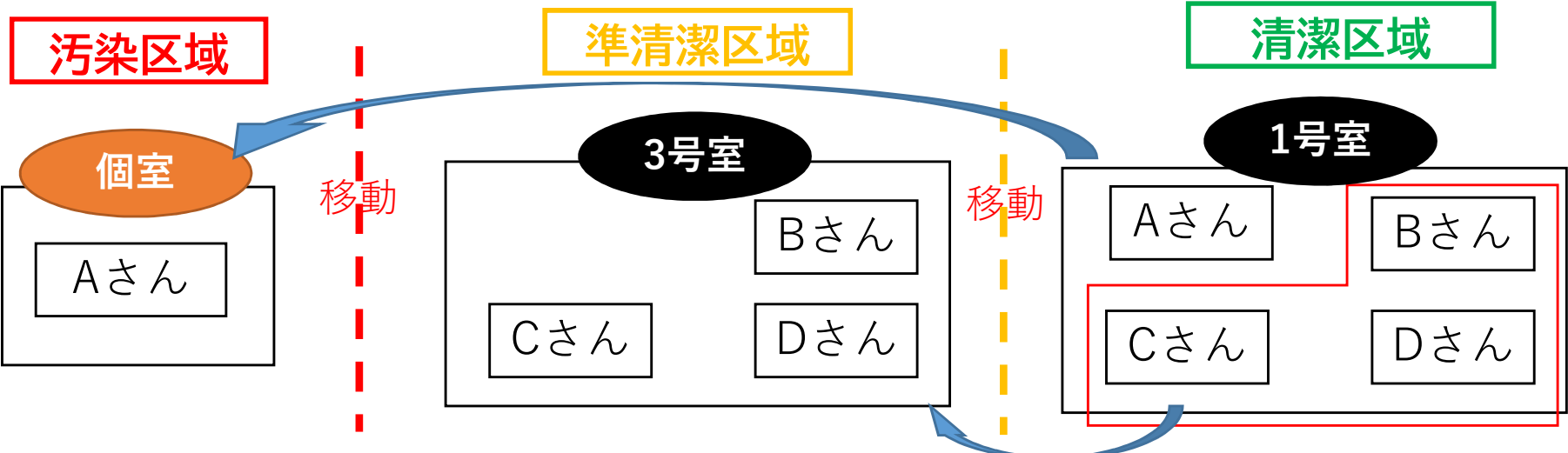
接触者リスト（別途健康観察票 添付3-3により健康観察を行う）

接触者番号	よみがな 氏名	続柄 (関係)	年齢	性別	患者との 最終接触日	基礎 疾患※1	観察期間内 の発症※2	連絡先（電話番号、 メールアドレス等）	備考（接触状況等）
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		

※1：疾患は患者臨床症状調査票（添付1）の基礎疾患参照（「有」の際は備考欄に詳細記入）、※2：観察期間は患者との最終接触日から14日後までとし、「有」の際は患者として患者臨床症状調査票（添付1）により調査を行う。

事例 ～陽性者発生後の二日間・保健所関連～

○月 1 日 1号室（4人部屋）のAさんPCRでコロナ（+）
保健所が調査のため、施設に来る。「聞き取り調査内容①②」に対応。
保健所から依頼のあった、接触者のリストアップ。
Aさんを個室管理のため移動してもらい、1号室の残り3人の対応もフルPPE着用（1人1人PPEを交換）と保健所から指導があった。ゾーン分けするために、3人も別部屋へ移動。
他利用者へは、居室から出ないようお願いする
接触者リストを東部保健所にメールで送る。
施設の消毒を行う。
食事用の食器はディスポの物に変更 等



事例

～陽性者発生後の二日間・施設独自の動き～

○月 1 日

16 : 00 1号室（4人部屋）のAさんPCRでコロナ陽性

17 : 00 ・保健所が調査のため、施設に来る。「聞き取り調査内容①②」に対応。

・保健所から依頼のあった、接触者の洗い出し。

・Aさんを個室管理のため移動してもらい、1号室の残り3人の対応もフルPPE着用（1人1人PPEを交換）と保健所から指導があった。

・ゾーン分けするために、3人も別部屋へ移動。

・他利用者へは、居室から出ないようお願いする

・施設の消毒を行う。

・食事用の食器はディスポの物に変更

23 : 00 ・接触者リストを東部保健所にメールで送る。

・保健所との窓口になる人を設定（施設長？看護師？）

・施設で対応する際に、主になる人を決定する

・Aさんのケア担当者を決める（出来れば少人数で固定が望ましい。感染を拡げないため！）

・勤務調整

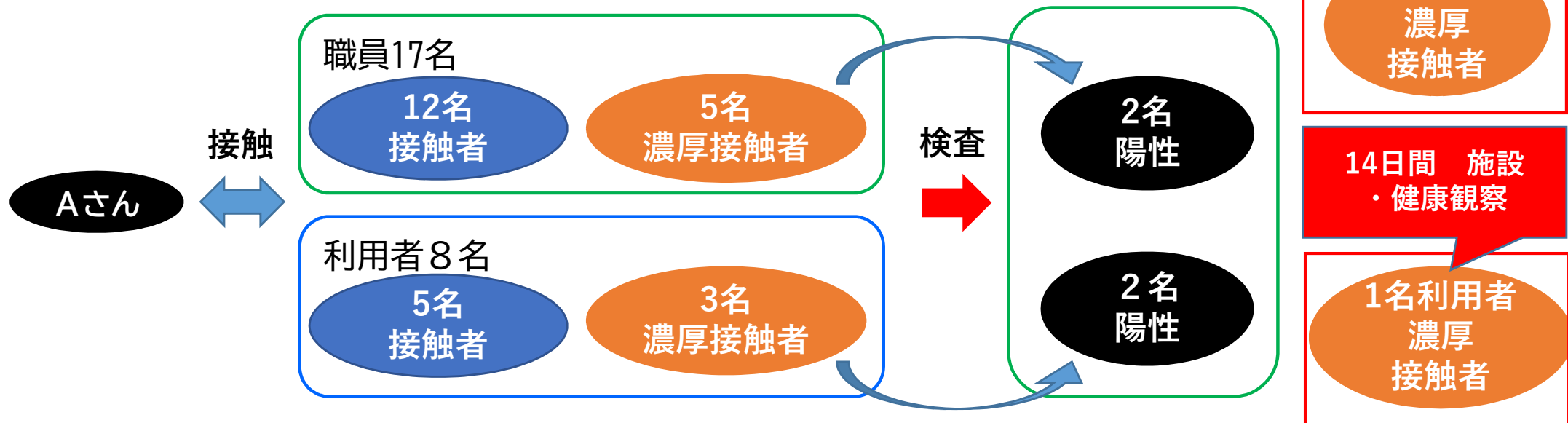
・ゾーン分けに対応した感染対策の実施

・利用者・家族・スタッフ等への説明

事例 ～陽性者発生後の二日間・保健所関連～

○月 2 日

- 9 : 00 東部保健所から、接触者検査について連絡あり。1つのユニットの利用者全員（8名）と、関わった職員17人を本日検査することになる。朝10時までに検体採取を依頼される。対象者の検体採取を行い、検体を保健所に提出する。濃厚接触者についても決定あり、利用者3名（同室者）と、スタッフ5人。スタッフは出勤停止14日間。
Aさんの入院医療機関が決定。入院のための準備をする。
- 12 : 00 Aさんを入院医療機関へ搬送。
- 17 : 00 検査結果判明、利用者2名、スタッフ2名から陽性者が確認された。保健所から電話連絡あり「聞き取り調査内容①②③」について対応する。



事例

～陽性者発生後の二日間・施設独自の動き～

○月 2 日
9:00

東部保健所から、接触者検査について連絡あり。1つのユニットの利用者全員（8名）と、関わった職員17人を本日検査することになる。朝10時までに検体採取を依頼される。対象者の検体採取を行い、検体を保健所に提出する。濃厚接触者についても決定あり、利用者3名（同室者）と、スタッフ5人。スタッフは出勤停止14日間。Aさんの入院医療機関が決定。入院のための準備をする。

12:00
17:00

Aさんを入院医療機関へ搬送。
検査結果判明、利用者2名、スタッフ2名から陽性者が確認された。
保健所から電話連絡あり「聞き取り調査内容①②③」について対応する。

・ 検体採取する人を決定

・ 1号室利用者で濃厚接触者となった3名のケア担当者を決める（出来れば少人数で固定が望ましい。感染を拡げないため！）
・ 勤務調整

・ 濃厚接触者となっている残り1名の利用者に対しては、施設内で14日間健康観察を実施
・ 濃厚接触者に対しフルPPE着用に対応

チェックリスト

患者発生期 「施設内にCOVID-19感染者または濃厚接触者が発生した」

【感染者発生期】チェック項目		ポイント	
マネジメント	組織体制	<input type="checkbox"/> 感染者発生に伴い、緊急の感染対策委員会を臨時で開催している	臨時開催を行い施設の対応について検討する。
		<input type="checkbox"/> 感染者の発生を把握している	感染対策委員会及び管理者は感染者発生の状況、実施される対応について常に新しい情報を確認し、把握する。
		<input type="checkbox"/> 勤務調整を行っている	勤務シフトや業務配分の見直しを行う。 就業制限となる濃厚接触者が発生した場合には、可能であれば法人等のグループ内での職員支援等の応援体制を検討・整備する。
		<input type="checkbox"/> 保健所から指示されたPCR検査等が速やかに実施できるよう感染者リストを作成している	保健所の指示でPCR検査等を行う場合は、感染者リストを作成し対象となった職員へ説明する。
		<input type="checkbox"/> 職員や入所者（または利用者）、家族への説明、対応を検討している	全職員（非常勤を含む）や外部委託業者等へ、施設内の状況や対応等の説明を行う。 感染者発生と今後の対策について入所者（または利用者）および家族へ説明を行う。
		<input type="checkbox"/> 職員のメンタルケアを行っている	職員の相談窓口、役職者による面談、産業医受診等メンタルケアを行う。

資料：日本看護協会「新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール 高齢者福祉施設用」

チェックリスト

患者発生期 「施設内にCOVID-19感染者または濃厚接触者が発生した」

感染管理	感染対策	<input type="checkbox"/> 感染者発生時の個室隔離、ゾーニングを行い他の入所者（または利用者）と生活空間の区分けをしている	感染者の介護度に応じて個室隔離やゾーニングを行う。 トイレ、洗面所、入浴や食堂等他の入所者（または利用者）との接触を避けるために区分けをする。 汚染区域がわかるよう表示する。 【隔離（個室）の考え方】＊ 汚染区域（レッドゾーン）：各居室内 清潔区域（グリーンゾーン）：廊下から外 ＊参考：国立国際医療研究センター 国際感染症センター 急性期病院における新型コロナウイルス感染症アウトブレイクでのゾーニングの考え方 2020/7/9ver1.0.
		<input type="checkbox"/> 汚染区域へ手指消毒剤、交換用の个人防护具やケアに必要な機材を準備している	汚染区域と清潔区域の移動回数を減らすため、必要な物品を汚染区域内へ準備（専有化）する。 アルコールベースの手指消毒剤、汚染区域内での交換に備えた个人防护具（手袋、マスク、ガウン、ゴーグル）、血圧計、体温計、オムツ、排泄介助に用いる物品一式、口腔ケアに用いる物品一式、感染性廃棄物容器を設置する。
		<input type="checkbox"/> 汚染区域へ入る時には、清潔区域で手指衛生、个人防护具を着用している	清潔区域に手指消毒剤、个人防护具を設置する。 汚染区域へ入るために、清潔区域内に个人防护具を着用する場所がある。

資料：日本看護協会「新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール 高齢者福祉施設用」

チェックリスト

患者発生期 「施設内にCOVID-19感染者または濃厚接触者が発生した」

【感染者発生期】チェック項目			ポイント
感染管理	感染対策	<input type="checkbox"/> 汚染区域で勤務する職員を固定し最少人数とする	個人防護員の着脱回数が増えると感染リスクが高まるため、1シフトの勤務において感染者とそれ以外の患者の担当を分ける。 ただし、感染のリスクや職員の心身の健康管理の面を考慮して勤務時間や配置する期間を調整し、十分な休息がとれるよう配慮する。
		<input type="checkbox"/> 個人防護具等の資材の在庫がある	個人防護具等の不足は職員の不安にもつながる。 確保が困難な場合は自治体を通じた支援があるか等自治体（保健所）へ相談する。
連携	行政・地域	<input type="checkbox"/> 保健所へ報告する	感染者発生数や入所者（または利用者）、家族、職員の状況について保健所へ報告する。
		<input type="checkbox"/> 近隣医療機関の感染対策チームへ相談している	感染症管理専門家による施設内教育、必要時の相談等地域流行期に調整をした連携を活用する。
		<input type="checkbox"/> その他の支援依頼可能なネットワークが活用できている	地域流行期に検討した職員不足時の支援、法人等のグループ内での支援を要請する。

資料：日本看護協会「新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール 高齢者福祉施設用」

情報提供；研修動画サイトの開設について

◎大分県庁高齢者福祉課のホームページ

★「**高齢者施設での新型コロナウイルス感染症対策
発生時の初動対応と対策**」

クラスター発生施設への支援経験のある感染管理認定看護師による
研修動画（令和3年2月10日公開）

★「**社会福祉施設における感染予防対策の基本等**」

施設向け感染対策の研修動画（令和2年6月30日公開）

◎大分県東部保健所のホームページ

★ **防護服着脱の手順について**

動画：個人防護服着用方法、脱衣方法、手袋の脱ぎ方、N95着脱方法他